

煙樹ヶ浜をきれいに清掃

クリーンアップキャンペ



ごみを拾う参加者

産業廃棄物の処理や収集運搬業者らでつくる一般社団法人和歌山県産業資源循環協会（須磨徳裕会長）は21日、美浜町の煙樹ヶ浜で第30回クリーンアップキャンペーンを実施した。

同キャンペーンは、廃棄物の不法投棄や野外焼却等の不適正処理などが社会問題になる中、産業の健全な発展、生活環境、自然環境

の保全と公衆衛生の向上を図ろうと、同協会が平成11年から取り組んでいる。

この日は、協会員とその家族、美浜町役場などからあわせて96人が参加。北敏彦副会長が「煙樹ヶ浜は、日本の白砂青松100選にも選ばれた松林が広がる海岸で、キャンプ場や展望台もあり、県内外から多くの人が訪れる名所。訪れる人へのおもてなしの気持ちも込めて、清掃活動を行いたいと思います」とあいさつ。

参加者は汗を流しながら清掃し、漂着物を中心としたペットボトルや空き缶、可燃ごみなど104袋とブイなど2台分を回収し、煙樹ヶ浜はすっきりきれいになった。